

あいあいねっと 通信 「借金はもうこりごり…

75

談に来たAさんもそのひとり。知的障害があり、作業所からのわずかな収入と生活保護、障害基礎年金を受給して一人暮らしをしています。地域福祉権利擁護事業を利用し、日常金銭管理

専門相談では「弁護士から「借入金額がそれほど大きくないこと、遊興費のための借入の場合、免責にならない可能性もあり、自己破産は困難だろう」「弁護士に依頼し、利息制限法に基づく利息の再計算を行い、任意整理で分割返済

で地域福祉権利擁護事業を利用しながら、毎月、生活費の一部を返済に充てています。「あんな目に遭うんやつたら、もう2度と借りへん」と話しています。今後、Aさんが落ち着いて生活できるよう願っています

The image shows the front cover of a book. The title '命と心によりそつて' is written in large, bold, black Japanese characters at the top. Below the title is a small, square illustration depicting a landscape scene with trees and a path. The overall design is minimalist and elegant.

A4判107ページ

童分野)、上家富靖・賀光寮施設長(障害者分野)による講評が加わり、事例を深く読みこむガイドンスとなっています。

会連合会(太田章輔会長)は、『個別援助事例集』命と心によりして』を発行しました。府民児協として初めての個別援助事例集であつた『一人のためにみんなの力で』から5年ぶりの発行となります。

障害者、児童などの被虐待やリス
トラによる生活苦、不登校、ひき
こもりなど、5年前とはまた違つ
た課題を抱え苦しむ住民に、寄り
添う委員の姿、地域のネットワー
クの頼もしさが行間から伝わって
きます。

また今回は、井岡勉・同志社大
学教授の総評をはじめ、坪山孝・
桃山学院大学教授（高齢者分野）、

個別援助事例

によりそつて『発行

世に出てる話では震災当時「すメシを炊け」「水を確保しろ」と指図したことになつてゐる夫義氏が、実はデスクに肘をつき「エイコツチヤなー」を連発して、ピソードなどを披露し、現金、電物、携帯ラジオ(電池)、水、懷中電灯、逃げ場の確保など災害時

まつと一工履中の中のまつと一
イスしました。
また、義一氏はボランティアとして出かけて行き、自分は家を失わなかつた者の、失つた方への配慮として、表立つて動くことは控えボランティアの支援というボランティアを行つたと話しました。

卷之三

卷之三

東大阪市社協の
「災害時支援活動マニュアル」
A4判107ページ

の二連予まラ

会もあつたとまとめていきます。

今後の取り組みとして、ボランティアグループや個人がどんな救援活動ができるのかという情報の共有や、市町村レベルの災害のネットにボランティア連絡会の役割：参考をどう位置づけるかなどの意見も書かれていました。

大陽府市町村ボランティア連絡会も昨年11月、災害救援ボランティア活動に関する取り組みを実施状況を調査し、府内連絡会中回答を得た。

まら 34 36 調ア 実ラ 連
ンティアの役割や動きについての検討は、これから地区が大半です。
過去の災害救援活動に参加した経験がある連絡会(25連絡会73.5%)やボランティアグループも多いことから、ボランティアとして関わることの役割や責任についての認識は広がっている。今回のアンケートを通して、取り組

ボランティア連絡会も調査

* 地域住民の方を対象とした学習会や訓練を実施開催していますか。

開催した 35.7% 開催していない 47.6%

開催する予定 16.7%

* 平時における災害に関するネット

今後取り組む予定

取り組んでいない	取り組んでいない
9.5%	31.0%

平時における要援護者

* 過去の震災、水害に対しても救援活動を行ったことはある 95.2% ない 4.8%

ない	ある
4.8%	95.2%

過去の救援活動経験

東大阪市では、「創ろう！みんなの市民活動ひろば」をスローガンに、昨年11月から毎月第3木曜日に東大阪市役所一階多目的ホールで、「1day市民活動ひろば」を開催しています（主催＝東大阪市、運営主体＝社協・ボランティア連絡会・NPOネットワーク東大阪）。

3回目となる1月19日の「1day市民ひろば」は、災害とボランティア週間の期間中でもあり、「災害時のボランティア活動、市民活動を考える」をテーマに、パネル展示や講座、セミナーによる啓発活動を行い、10時から19時までに約500人が来場しました。

同市危機管理室の講演「防災対策について、市としての取り組みと、各自でできる防災・減災対策」や、社協、民生委員・児童委員、ボランティアが、それぞれの立場から災害時の役割を発表するセミナーがありました。ボランティアによる災害備蓄米の調理実演と試

地域での防災や減災の意識を高めるとともに、災害弱者といわれる高齢者や障害者などへの対応など、災害発生時に行政や関係機関との連携をとりながら、ボランティア活動や市民活動として、そのときどう対応したらいいのかを考える一日となりました。

民児協が災害支援のモデル地区に

また、同市民児協は、05年度～06年度に府民児協連が行つてはいる「災害時に備えた民生委員・児童委員活動に対するモデル地区事業」に手を挙げ、泉佐野市とともに指定されています。04年度に同市社会協議会が取り組んだ『災害時支援活動マニュアル』作成時に、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、寝たきり高齢者の安否確認のシステム化を図りましたが、よりきめ細かな対応の検討や、障害者への拡大などを検討するとしています。

防災・災害救援 体制整備

習会や訓練を実施開催していますか。
開催した35.7% 開催していない
ない47.6% 開催する予定17.7%



*過去の震災、水害に対して救援活動を行ったことはない76.2%	検討している23.8%	検討しない8%
---------------------------------	-------------	---------